



## 徳清会

質問者

にしなふみひで  
仁科文秀 議員

所属議員

くりおじゅんぞう  
栗尾順三 議員

もりおかさとこ  
森岡聡子 議員

うまこしゆうせい  
馬越裕正 議員



新しい笠岡づくり若い人たちの意見・提言を！

議員 笠岡が持続的、安定的に進化していくためには「本市の将来を担う若者の意見がしっかりと反映されるまち笠岡」であるべきでは。

市長 第7次総合計画の策定においても、市内4校の高校生や若者会議のメンバーにも参加してもらった。若者ならではの独創的な提案が見られ、まちづくりへの参加意識の高まりも見られた。

議員 公立幼稚園・保育所の再編整備計画の素案についても、市が先行するのではなく、若い世代とともに考え、つくっていく姿勢をもっと出すべきだったのでは。

こども部長 素案に至るまでの情報提供が若干希薄であったと思う。説明会等で意見を頂いていきたい。

ふるさと笠岡の歴史が学べる郷土館を番町の文化ゾーンへ！

議員 郷土館は西の浜にあり、平成28年度の年間入館者はわずかに473人で1日1人か2人。市民会館の中など、番町の文化ゾーンに移すことはできないか。

教育長 郷土館には管理活用できる人・物・場所が必要である。現在の施設は高床の特徴的な構造で郷土館らしさもある。現在地では入館者が増えにくいのは事実だが、移転については慎重に検討したい。

議員 入館者がほとんどいない現状でよいのか。若い人たちに郷土に誇りを持って、郷土愛を育ててほしいと願ってもむずかしい。文化ゾーンの中に郷土館の機能が移れば、郷土館を目的としては来ない市民や市外の人までも笠岡の歴史文化に触れることができると思う。



## 新政みらい

質問者

あまの きいちろう  
天野喜一郎 議員

所属議員

おおつきたかし  
大月隆司 議員

たぐちただよし  
田口忠義 議員

おおもとますゆき  
大本益之 議員



SNSの活用による情報発信の重要性を問う

議員 定住促進に関する情報発信を、現在どのように行っているのか。

市長 市公式フェイスブックにおいて、定住促進センターが実施する各種事業を発信するとともに、定住促進センター独自のアカウントにより、笠岡の魅力を伝えるための情報を発信している。さらに、今年には笠岡市シティプロモーション業務を実施する。

議員 防災情報に関する情報発信についてはどうか。

市長 避難に関する情報や避難所開設情報等を市民の皆様に一斉にかつ漏れないようにお知らせするために、複数の伝達手段を活用している。スマートフォン用アプ

リの活用については、情報伝達手段の多様化の観点から今後検討していく。

学校規模適正化計画を問う

議員 小中一貫教育のあり方を検討中だが、広域的な適正化規模の見直しについてたずねる。

教育長 昨年の10月から開催されている笠岡市教育審議会から今年12月には答申が提出される予定である。それを踏まえ、来年度の前半には笠岡市小中一貫教育推進計画を公表したい。

学校規模適正化と小中一貫教育の推進は、ともに笠岡市の学校教育に係る組織や仕組みを将来にわたって持続させるものである。来年度の公表を目指している笠岡市小中一貫教育推進計画は、これまで進めてきた学校規模適正化計画を踏まえた全市的な計画となる。